

日野市在宅療養体制構築のための基本方針について

総合戦略の基本目標 『**住み慣れた地域で生き、看取られる、暮らし・福祉・医療の展開**』
 (日野市版地域包括ケアシステム 医療・介護・住まい・生活支援・介護予防)

2025年に向けて、従来の施設中心の医療モデルから**在宅での生活モデルへの療養体制の転換**が必要。
 従来、福祉の視点からの地域包括ケアシステムへのアプローチはしてきたので、それらに医療の視点を
 加え、日野市の地域特性を踏まえた基本方針を策定。

- ⇒平成 28 年 **全国在宅医療会議** 地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築には
 在宅医療の充実がカギ
東京都地域医療構想 地域全体で治し、支える「地域完結型」医療の確立
- ⇒平成 30 年 **第 7 次医療計画**と**市町村介護保健事業計画**のスタート年
診療報酬・介護報酬の同時改定年。

高齢者福祉総合計画のうち、在宅療養について「深掘り」し、「医療の視点」を加えて方針を策定
 両者を融合し、地域包括ケアシステム（ネットワーク）の構築を推進

29年度

<基礎調査>

- (1) 基礎データ・資料収集及び分析・将来予測
 (人口動態、国や都の動向、地域資源に現状と将来予測ほか)
- (2) 主体別意向調査
 (市民、医療機関、関係機関、関係部署ほか)
- (3) 療養環境及び将来予測
 (退院支援状況、医療と介護の連携状況、看取りの状況ほか)

30年度

<基本方針の策定>

—住み慣れた地域で暮らし続けるための継続的な療養環境の最適化—

- ・在宅生活を支える医療と介護の各関係機関の**役割と協力関係の明確化**
- ・市民等を中心とした地域包括ケアが機能する**仕組みと情報共有の強化**
- ・多死社会に備えた「**終末期ケア・緩和ケア・看取り**」を充実するための体制整備
- ・在宅療養を維持するための**患者・家族の負担軽減と相談機会の提供**
- ・在宅療養環境の充実に対する市民認知度向上のための**周知啓発**
- ・暮らしと医療の最適化を図るための**まちづくり**の推進